

# 研究のあしあと 1

令和4年度 久美浜小学校研究推進部

令和4年6月

今年度から、研究教科が生活科と総合的な学習の時間になりました。

「まずは、地域のことを教職員が知ることから始めよう」とスタートした研究ですが、5月25日（水）に第1回のフィールドワークにみんなで行くことができました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

行き先は、稲葉本家とかぶと山の展望台。稲葉本家では、支配人の方に歴史などの話をしていただき、かぶと山では、岡保先生に地形のことやかぶと山についての話をしていただきました。学びが多く、意義深い時間を過ごすことができ、今後の学習指導に生かすことのできる財産をたっぷり吸収した研修になりました。

## かぶと山について

- 山自体が御神体  
(登山口の焼き物の所の近くに祭事場所あり)  
※ゆえに、昔は女性が山に登ると汚れると言われ、女人禁制だった。
- かぶと山には、有名な「おばば岩（人喰い岩）」の伝説  
子ども達が夜遅くなるなどすると、「おばば岩に食べられる」などと話し、地元の子どもは育った。  
しかし、最終、岩が人を食べるのを青年が止めるため、赤土を口に入れたという話があり、口もとのところが赤土になっている。



砂州でできた小天橋

## 久美浜湾の地形について



- 砂州地形  
潮の流れで砂がたまってつながったため、天橋立に似ており、小さい天橋立（＝小天橋）と言われている。  
(砂がたまっただけの場合は「砂嘴」という。)

この辺りはフルーツ栽培がさかん

- カキ養殖について  
砂州地形のため、潮流が少ない。水戸口があるが、潮の出入りが少ないため、久美浜湾の栄養分が流れ出す、溜まっていくので、カキ養殖に適している。

※カキの稚貝は仙台から

東北大震災で仕入れが途絶え、一時広島からの稚貝に置き

換えをしたが、大きく育たなかったため、年月とともに、また仙台から買うようになった。

- 小天橋は、戦争時代には飛行場として使用されていた
- 大明神岬の付近に古墳あり（他にも多数）
- 久美浜には8つの村（それぞれ旧小学校名が村名）

久美浜小学校もぼっちで見えました！



帰りには、人喰い岩の上に乗る経験もしました。それにしても、かぶと山から見る久美浜の景色は魅力の塊でした！！

# 稲葉本家での話

## 1 稲葉一族が久美浜に来たいきさつについて

- ・ 戦国時代の武将 織田信長に仕えた稲葉一鉄（春日局（家光の乳母）の母方の祖父）の分家の次男が 450 年前に この久美浜に来たのは2つの説があり、どちらも不確か。

（ただ、さまざまな残っているものをもとにすると、信長の家臣だったことは確かな事実。）

- ①武田信玄に敗れてこの地に落ちのびてきた説
- ②松倉城主である松井康之（細川家の重臣 ガラシヤの仲人）とともにこの地に来た説  
（1582年 本校裏手の天神山に築城）



庭は、龍伝説やかぶと山を模した造りになっていました。庭造りへのこだわりを感じましたね。

## 2 稲葉家の生業について

- ・ 初代～6代 … 味噌・醤油のもとになる「麴」を扱っていた。
- ・ 6代当主時 1666年 天領（幕府の直轄地）になる。

1735年 代官所（日本海側では2か所目）ができる。そのため、幕府の公金を扱う掛屋（かけや）となる。（銀行のはしり）

沿岸交易（千石船）で生糸（丹後ちりめんの原料）の売買で財を成す。

※ 千石船… 1回の航海が1年 一人が一生分のを儲けができると言われている。

- ・ 10代当主 天明・天保の大飢饉の際、11年間米蔵を開放して幕府に献上。そのことで苗字・帯刀を特別に許される。

- ・ 12代当主 衆議院議員 明治18～23年にかけて、現在の稲葉本家を建築される。

土間・居間一体 松・欅を使った贅沢な建物

延べ18300人が建築に関わる

1階部分 当時の5157円 現在の17億円強

- ・ 13代当主 京都府会議員・町長を歴任

明治40年 2階部分（新婚部屋）増築

当時の1600円 現在の5億円強

昭和4年 私財を投げうって、鉄道敷設に尽力（今の丹鉄があるのはこのため）

公会堂にあった銅像が、20年前の稲葉本家の開館に合わせて移築された。

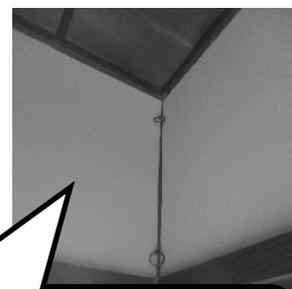
直系の血族はここで断絶することになる。（息子さん2人とも戦死。）死後、50年間、空き家になっていた。（土居の公民館代わりなどで使用）

- ・ 15代当主 久美浜町に建物を寄贈。土地は2億円で久美浜町が購入。

さらに2億円をかけて屋根瓦を吹き替え、内装工事をして今に至る。



こちらの屏風は結城素明さんに描いていただいた「極彩色 草花之図 金屏風」です。



上は夏用の蚊帳、下は冬用の蚊帳など、客室にもおもてなしの工夫がありました。

他にも建物の工夫が！

- ・ 半畳を使用した部屋・・・商売繁盛を意味している。
- ・ 夫婦円満を願って、同じ木が2本ずつ植えられている。
- ・ 結婚式の前撮りにも・・・

**稲葉本家は、歴史からも建物の工夫からも迫ることのできる、  
素敵な久美浜の財産だということがわかりました！**